



広中さん（左端）から記念品を受け取るラオスの学生たち

2 25金 広がる交流 つながる友情

愛知万博における田原市のフレンドシップ相手国ラオスの学生4名と講師1名が田原市を訪れ、2月25日（金）～27日（日）の3日間滞在しました。これはラオス国立大学と交流のある名古屋大学大学院からの申し入れを受け、たはら国際交流協会が受け入れ実現したものです。一行は市役所を表敬訪問し、市長やフレンドシップ大使・広中康男さんらと歓談したほか、協会会員宅にホームステイしたり、パターゴルフで交流したりしました。

TTCN

たはらシティニュース / TaharaCityNews

2月⇒3月



声をかけあいながら急いで海岸から避難するサーファーたち

2 20回 とにかく逃げよう 津波警報

東海地震などによる大津波の発生に備えた津波避難訓練が太平洋ロングビーチで行われ、田原市サーフィン協会や地元自主防災会、消防団など約250名が参加しました。訓練は、駿河湾～熊野灘を震源とする大規模地震が発生し、太平洋沿岸に大津波警報が発令されたと想定。サイレンなどで警報を知った海岸部の人たちは、急いで安全な高台に駆けのぼり、万一のときの行動を確認するとともに、今後の課題について話し合いました。



お世話になった先生と一緒にパチリ！（東部中学校）

3 8火 さあ進もう 次のステップに

田原市立の学校と保育園で卒業式・卒園式が行われました。3月8日（火）には、市内4中学校で525名が、15日（火）には、田原福祉専門学校で第8期生74名が、18日（金）には、市内12小学校で503名が卒業を迎えました。それぞれの式では、学舎での思い出に浸ったり、新しい生活の始まりを喜んだりする生徒や児童の姿が見られました。また、25日（金）には、市内15保育園で313名が卒園しました。